

令和7年度 音楽科 授業改善推進プラン

大田区立入新井第一小学校

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

歌唱や器楽など、音楽活動を楽しんで取り組む児童が多かった。その成果を学芸会や連合音楽会などで発表し、達成感を得ることもできた。発表を通して、児童の音楽的な技能も向上してきている。

(2) 課題

与えられた課題に一生懸命に取り組む児童が多いが、主体的に課題を見つけ、自分で学習を調整することについては課題が残る。本校が単元内自由進度学習を研究テーマにしているので、児童が主体的に活動できるような授業展開を考え、主体性を向上させていきたい。

2 授業改善のポイント（観点別）

(1) 低学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
曲に合わせて身体表現をしたり、手拍子をしたりする活動を継続的に取り入れることで、拍の流れやリズム感を身に付けさせる。	範唱を聴いたり、歌詞や曲調に注目させたりしてイメージや考えたことなどを共有することで歌い方や動作を工夫できるようにする。	曲に合った表現がよりよくできるように、活動のねらいを明確にすることで見通しをもたせる。

(2) 中学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
呼吸及び発音の仕方に気を付けて、自然で無理のない歌い方のために必要な知識・技能を身に付けられるよう、発声練習に毎時間取り組む。	歌詞の内容や情景・強弱による作者の気持ちを考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うか・演奏するかについて思いや意図をもつために、歌詞や旋律の流れに着目するワークシートを作成し、どのように表現するか考えられるようにする。	一斉指導だけでなく、グループやペア学習などを取り入れ、進んで楽しく音楽に関わり、協働的に音楽活動に取り組むようにする。

(3) 高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
呼吸及び発音の仕方に気を付けて、自然で無理のない歌い方のために必要な知識・技能を身に付けられるよう、発声練習に毎時間取り組む。	歌詞の内容や情景・強弱による作者の気持ちを考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うか・演奏するかについて思いや意図をもつために、歌詞や旋律の流れ・音色に着目するワークシートを作成し、どのように表現するか考えられるようにする。	一斉指導だけでなく、グループやペア学習などを取り入れ、主体的に楽しく音楽に関わり、協働的に音楽活動に取り組むようにする。

